

平成24年度第1回柏原市図書館協議会議事録

1、日 時 平成25年2月21日(木) 午前10時から11時45分まで

2、場 所 市民文化センター1階学習室

3、出席者

出席委員	会長	高 焯	裕 樹	学識経験者(大阪教育大学准教授)
	副会長	蛇 草	真 也	学校関係者(堅下南小学校校長)
		大 西	文 治	家庭教育活動者(公募委員)
		阪 本	豊 子	家庭教育活動者(公募委員)
		計 盛	佐 登 子	学識経験者(市議会議員)
		寺 田	悦 久	学識経験者(市議会議員)
		出 野	光 広	社会教育関係者(こども会育成連絡協議会)
		松 尾	隆 子	社会教育関係者(図書館ボランティア)
		吉 見	静 香	社会教育関係者(社会教育委員)
欠席委員		乾 尚 美	な お み	社会教育関係者(P T A協議会)

事務局

生涯学習部長	岡 本	彰 司
柏原図書館長	真 野	繕 意
参事兼国分図書館長	至 田	勝 紀
柏原図書館長補佐	北 野	良 一
柏原図書館主査	増 井	良 年

4、案件

- (1) 平成23年度 図書館事業活動報告について
- (2) 平成24年度 図書館事業執行状況について
- (3) 平成25年度 上半期の行事予定について
- (4) その他

5、議事の内容

司 会

定刻になりましたので、只今から平成24年度柏原市図書館協議会を開会致します。皆様方には、本日公私なにかとお忙しいところ当協議会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

本日の司会をいたします、国分図書館館長の至田でございます、よろしく願いいたします。

本日の会議は柏原市まちづくり基本条例第15条により「会議の公開」が規定されておりますので、本日の協議会を公開することといたしますのでよろしくお願い申し上げます。それでは、開会に先立ち岡本生涯学習部長が開会の挨拶を申し述べます。

<岡本生涯部長挨拶>

司 会

<出席委員の紹介>

<事務局の紹介>

<資料の確認>

それでは、議題に入ります前に、本日の会議の成立状況でございますが、柏原市図書館協議会条例第5条第2項に委員総数の1/2以上の出席が成立要件となっております。本日の出席者は委員10名中9名が出席されておりますので、協議会は成立しております。それでは、協議会条例第5条第1項により会長が議長をつかさどる事になっておりますので、これからは高鍬会長に議事進行をお願いいたします。

会 長

それでは、次第に添って議事を進めます。

はじめに「平成23年度の活動報告・平成24年度の事業執行状況」を事務局から説明願います。

事務局

平成23年度図書館活動報告を「平成23年度柏原市の図書館」を用いまして説明させていただきます。

概略をお話します。

特に他の年度と大きく違うのは、3ページをご覧ください。

3. 組織・予算・協議会という欄の真ん中に予算の表がありますが、その中の1番下に図書購入費とあります。例年ですと、柏原・国分を合わせて900万ですが、24年度につきましては、別に1枚資料がありますが、地域活性化交付金についての資料を入れていません。住民生活に光をそそぐ交付金というものです。この交付金により、図書購入費が400万円アップしました。この400万円で高齢者向き大活字本、録音図書、児童の百科事典、DVD ビデオを購入しました。詳しくは、別添資料でご確認願います。

もうひとつ、他年度と大きく違いますのは、コンピューターシステムの更新を行い予約された資料で用意できた案内をメールを通じ携帯に送信できるようになりました。その結果インターネットによる予約が増えております。また後ほど具体的な数字をあげてご報告しますが、インターネット化の時代と思わせるような予約件数が増えていきます。

続きまして、10ページの7. 統計とあります。その内の蔵書状況ですが、24年3月末現在で22万5800冊、23年度3月末では21万9851冊でしたので、5849冊増加しております。

それと、(4)登録者状況及び利用者の推移の中の(ウ)最近5年間の利用の推移があります。19年度から23年度までの利用の推移を載せていますが、開館日数は毎年度少しずつ増

えておりますが、利用者数は人口減少の関係もあるかと思いますが、年々減少傾向です。それに対しまして貸出冊数は増加しております。つまり、少ない人数でたくさん借りていただいている状況がこれでわかると思います。

その次に15ページ、(10)実績の指数です。

Aの人口ですが、平成24年3月末の人口は7万3346人です。平成23年3月末は7万3926名となっています。580人、人口が減っています。

この影響かとは思われますが、Fの利用者数は11万3696人となっております。前年度は11万5489人でしたので、1793人利用者数が減少しております。

それに対しまして、Gの貸出冊数ですが、42万8040冊となっております。前年度が42万5861冊ですので、2179冊増えています。

その結果、市民1人当たり貸出冊数が0.08伸びまして5.84冊となっております。

続きまして16～20ページですが、ここには図書館の行事と展示ということで、柏原図書館と国分図書館の行事と展示について表を載せております。

柏原図書館、国分図書館共、来館者の増加や図書の貸し増をはかるために多くの催しものや展示コーナーを設けております。今後ともこういった活動を続け、図書館の利用の促進を図っていききたいと思っております。

次に(3)ブックスタート事業ですが、保健センターで生後4か月検診の際、絵本読み聞かせを通じて親子のふれあい、また赤ちゃんの心の成長を促したいという思いでボランティアの方とともに活動を続けております。

平成16年11月より活動を開始しまして、前年度の参加人数は526人で、23年度は595人です。若干の伸びが見られます。

(4)レファレンスですが、平成23年度は563件、平成22年度は640件とこちらは若干減っております。

(5)FMちゃおによる図書館利用の啓発と案内ですが、FM放送を通じ図書館のPR、行事案内を第1、3水曜に放送していただいております。

以上を持ちまして、23年度柏原図書館活動報告を終わらせて頂きます。

会 長

24年度事業執行状況をお願いします。

事務局

それでは24年度事業執行状況について説明いたします。資料1をご覧ください。

平成23年度、24年度を対比し報告します。

1ページにあります平成23年度平成24年度貸出冊数は24年度が終了しておりませんので、1月末現在とさせていただきます。そのため平成23年1月末と比較させていただきます。貸出冊数は23年度24年度比較し図書館全体で5448冊増えておりますが、その中でビデオは1043減少しておりますが、考えられますのは新規にビデオを購入していない事と、ビデオデッキのない家庭が増えたためと思われる。

また、障害者向けの録音CD図書ですが、平成23年度住民生活にひかりをそそぐ交付金により蔵書が増え、音楽CDについては利用者からの寄贈により柏原図書館はCDの所蔵が増えたことで貸出しが増えております。貸出冊数についての報告は終わります。

続きまして、2ページ、平成23年度、24年度利用者人数について報告いたします。貸出冊数と同じく1月末現在を比較しまして、2084人増えております。

続きまして、平成23年度24年度の蔵書冊数についての報告を致します。平成24年度は年度途中のため平成25年2月13日現在で前年度比較で6518冊増えております。蔵書冊数についての報告はこれで終わります。

続きまして3ページ、予約件数について報告します。平成24年度は2月13日現在の件数です。24年度末ではWeb予約は900件増え、合計で2600件増える見込みです。増えた要因といたしまして、平成23年10月よりコンピューターのシステム更新によりリアルタイムで書架にある資料が確認でき、Webからも予約もできるようになり、またメールの連絡も受け取れるようにしたためと思います。その他に、平成24年5月より資料の延長がWebによりできるように変更を行いました。予約件数の報告を終わります。

続きまして、相互貸借について報告を致します。平成24年度は2月13日現在、平成24年度末では借受冊数は300件増える見込みです。平成23年度・24年度は相互貸借のPR活動を積極的に行ったため利用者が増加したと思われます。また、相互貸借の事務作業の簡素化を行いました。相互貸借についての報告はこれで終わります。

付属資料1についての報告はこれで終わらせていただきます。

続きまして、資料の2です。

先ほど部長が述べました、広域利用登録状況についてお話をさせて頂きたいと思っております。平成24年7月から大阪市、東大阪市、松原市、八尾市、富田林市、河内長野市、大阪狭山市、羽曳野市、藤井寺市の各市と図書館の相互利用の協定を締結し、行政区域を越えて地域内のどこの図書館でも利用できるように協定を結びました。八尾市、東大阪市については昭和58年から相互利用を開始しております。

(1)他市からの柏原市への登録状況ですが、270人登録されました。多いのは八尾市の116名、藤井寺市の77名、羽曳野市29名の順番になっており、合計270名の方が登録されました。

それと柏原市民の他市への登録状況ですが、24年11月現在の数字ですが173人の方が他市に登録されまして、4341冊借りられています。

(2)広域利用者への貸出冊数です。これも合計で1万1753冊ありまして、登録状況と同じように八尾市が7757冊藤井寺市が2064冊という順番になっております。これもPRにつとめまして、幅広い範囲で学習をしてもらい、利用を図っていきたいと考えております。よろしくお願ひします。

会 長

平成23年度活動報告、平成24年度事業執行状況の説明をしていただきましたが、何か質問は、ありませんか？

委 員

今、ご説明いただいた広域利用ですが、非常に各方面がご苦労されて実現されたという話がありました。初め広域利用が始まったのが、八尾市、東大阪市、柏原市。今まで声もありましたし、そのようなことで始まったと思いますが、これを続けていただきたいという観点で、今スタートしたということですが、これは問題があるなというような事を耳にされたことはありますか？

事務局

ひとつお聞きしたのは、羽曳野市では藤井寺市からの利用が非常に多い。羽曳野市は、藤井寺市と隣接しており、利便性による結果と思われる。またいろんな市史が見られると、郷土研究をされてる方に喜ばれているということは聞いております。

委 員

今、スタートしたばかりですので、続けていただきたいという気持ちですので、対応お願いいたします。

委 員

羽曳野図書館は借りに来られたらカード発行するのに費用がかかるという事だが、羽曳野市民も藤井寺に借りに来たら同じ事になるのと違いますか？

事務局／規模や立地条件も違い現状のところでは羽曳野市民の方が藤井寺の方に行く事は少ないと聞いておりますが、今後増えることも予想されます。

委 員

同じ意見なんですけど、カードに対する費用は市が持つんですね。それなら、増えれば増えるほど負担がかかるということなんですね。それに対して協定で決められたんですか？

事務局

協定で決められました。館によっては予約ができないとか、CDは貸さないところもありますし、その館の方針に従うという事に決まりました。

委 員

柏原市のカードがありますが、それを利用できないのですか？

事務局

各図書館のコンピューターシステムが違うので、一度来館して頂いて、そのカードを作るという事になります。将来的には共通カードを考えるという、検討課題にはなっております。

委 員

それは反面、各図書館は少し考えないといけないと思います。

図書館を充実すれば、その市の人は逃げないんですね。私は志紀の方に行ってます。

前は三郷に行っていました。そこは前は借りれてたんですが、三郷市民が借りられるのが増えて他市はダメとなりました。2、3年前くらい。三郷はとても充実しててよかったんです。それはそれでいいと思いますが、それによって柏原市もたくさん増えたら道路交通上あまり来られないなというのであれば、蔵書など内容的に反映してもらえばこそ共通の意味があると思います。そこまで深く考えて運営して欲しいと思います。

委員

同じく広域利用についてですが、年度末に他市の登録状況が分かるということなんですが、9市が始まってから、もともとあった中河内3市にも変化があったとかの状況もわかるのでしょうか？例えば年代別とか。

事務局

年度末の統計により3市の登録状況の変化を調べたいとおもいます。

委員

柏原市に登録している大阪市の人少ないのに貸出数は大阪多いですね。

会長

柏原市に大阪市の人が登録しているのは16人ですね。貸出点数は793冊ですね。

それは、例えば八尾市に比べるとずっと少ない数と思いますが。

委員

そうですね。登録してはる人が少ないのに、貸出数が多いように思ったんですが。

会長

八尾市だと116人が登録してて、貸出数が7757冊あるわけですから、16人だと。

委員

八尾、藤井寺、羽曳野の近いところが1、2、3位かなと思ってたのが、そこに大阪市に貸してる冊数が多いなと思ひまして。

会長

それに関してなにか。

事務局

何度も足を運んでもらってるかもしれませんが、登録者の数は出したのですが、もう一度確認させていただきます。

会長

在勤の方はそもそも登録に入りますので、広域利用には入りませんね。

事務局

入りません。在勤、在学の方は含まれません。多い理由を調べます。

会長

富田林などに比べると大阪市はかなり多いかもしれませんね。

他には？関連でもかまいません。

会 長

私から尋ねます。柏原市の図書館の実績の指数の説明の中で、人口が582人減と言われましたが、僕の計算ではこれは0.7%位の減になると思いますが、これに対して実利用者数の減が多いような気がします。

事務局

実利用者数は平成22年度末で1万2593人、23年度末では1万2051人、減少数としては542人です。

会 長

細かい数字ではありますが、人口減に比べて実利用者数の減の率が大きいのではないのでは。利用者数は延べ数ですか。

事務局

実利用者数の減少については、4.5%の減少です。

会 長

人口減が0.7%に対して実利用者数の減少は4.5%減となると、先ほど人口減少のために減ったと言われましたが、それに対して本当にそう言えるのか少し疑問に思います。

事務局

単純に考えまして人口が減ったことが、利用者数の減少に繋がるのかなと単純な発想でそう申しあげました。深い意味で利用者数の減少の調査はまだしておりません。減少してきているということは把握していますが、大きな理由としては高校生、中学生の利用が少なく、ヤング・アダルトコーナーという形でその年代に向けての対応をしていますが、いろいろな思案・思索はして対応はしておりますが、明確な減少理由の把握はしかねているのが現状です。

会長

今すぐというわけではないですが、これは分析が必要な部分かと思います。人口減で利用者が減っているとは考えにくいと思われます。

図書館の実績の数字をを見せていただきますと、日本図書館の平均的なところかなと思います。すごくサービスしている図書館も、つぶれている図書館もひっくるめて、例えば蔵書回転率も1.9冊で全国平均は2冊位ですし、市民1人当たりの貸出冊数は5.84冊ですが全国平均は5.6冊位だと思いますので平均的な所だと思います。ただ、平均的な所にとどまるのではなく、より優れたサービスを目指してほしいです。例えば予約に関してシステムを改善してわかりやすくするという事で、貸出も伸びたりしていると思いますが、何らかの平均的な所にとどまらず上を目指す目標や工夫等を考えておられますか？

事務局

後ほど平成25年度上半期の行事予定を報告させていただきますが、待っていては利用者は

増えませんが、FM放送や広報などいろいろな媒体を通してアピールしながら催し物を行い、季節ごとの展示を工夫したりして利用者増加、貸出増加に関わっていくようにはしています。その中でインターネット化の時代ということで、インターネット予約利用ができ、ホームページのあり方や利用促進を考えた研究したいと思っております。

会 長

その中で、単純に考えて一番効果を発揮するのは資料費の増額だと思います。市民1人あたりの図書購入費が177円となっていますが、全国平均250円位だと思います。サービスとしては平均的にはきているが、かけているお金が少ないという現状があると思います。図書館に言ってどうなるものでもなく、議会に言うべきとは思いますが、図書費の増額要求はしておられますか？

事務局

要求は毎年行っております。最後の査定で決まります。

会 長

少ない額で、そこそこのことをやっているという評価になると思います。できれば、平均の額ができればよりよいサービスができると思います。職員の方が一生懸命やってこの現状にあると思います。財政支援が全国平均から言うと足りないかとおもいます。ある意味でもったいないなと思います。もっとできるはずなのに、資源が十分でないために、この程度までしかできないという現在の実績数字を見る限りの現状だと思います。出来る限りの努力で原資を獲得して頂いて実現して頂きたいと思います。

委 員

要求を出して議会が決めるわけですか？要求が通ってないわけでしょう。

事務局

財政が決めております。毎年、要望はそれなりの額を出させて頂いてます。ただ財政は市全体の予算を見ますので、その中でそれぞれの配分があり、我々が100の要望を出しても全体を見ると80になります。それで、そうですかということにはならないので、毎年要望は出しております。その中で必要とあれば昨年ならばひかり交付金という形で400万円が出たら、図書購入費に充てていく等の努力はしております。全体の財政状況を見ますので、我々は頑張っていきますが、理事判断、最終的には議会で承認されて行くという形です。

委 員

議員さんもおられることですから、図書のことを言っていたきたいね。

委 員

私たちが毎回言わせて頂いています。私たちが見せてもらうのは予算立てたものを見ます。理事者側だと思います。いくらでも賛成させて頂きたいのですが、限られた金額を持って来られるので、それに関して増やしてほしい等の質問はさせていただきます。しかし、予算を立てる前に私たちは常日頃質問の中でもっと本に親しむためには蔵書が柏原市少ないの

で増やしてほしい、でも年々減少しているんです。それを増やしてほしいと言っていますが、そちらが立てられる予算が少ないと削っておられるんです。国から出す臨時の予算を早くキャッチして、早く押さえて欲しいんです。常日頃国がどういう図書に関する予算を出すなど情報をキャッチしてとってくるのかしないと、手遅れになると取れないので。私たちはすぐに賛成します。

委員

皆さんの願いがあるので常に議会は図書館への力入れ、市民の皆さんの直接の要望などをやっていますが、予算権というものが財政にあり、それが提出されて初めて議会が知り意見をだせます。引き続いて要望もしていきますし、東京に行って図書館に関する補助金が無いかと見つけに行っています。原資の無い中でやっていただいている。私は国分なんですが、国分図書館に行ったら本が何もないやないか、と言われます。十分わかっています。議会でも要望も続けていきます。

委員

予算を出して、それを財政の偉いさんが判断するんですね。市長さんに言いに行きますわ。予算はみんな削りありますけど、少し緩やかにして欲しいと市民として訴えていきます。先生もおっしゃりましたが、予算の無い中平均並みになってる。もっとよくなるよう努力していきましょう。

委員

登録者数で、平成22年度末からの登録者数が2000人近く減ってます。去年の資料では21年度から22年度は1500人増えてましたが、23年度にかけて減ったのは何か原因はあったのですか？

事務局

市外の人が10年、市内の人で15年利用の無い方を除籍しました。今までしていませんでした。

会長

登録者数は10年位利用が無くても登録者の数になりますので、世界標準の表示の出し方がありまして、この1年間に図書館を使った人を登録者として数えるというISO世界標準化機構で決められた図書館の登録者の数え方をします。日本もこれに従って、JIS、日本規格協会と同じ数え方をすることになっております。ここで登録者数を見るのは意味がなく、実利用者数をみることに意味があります。実利用者数については増えていると思います。ただ、この規格だとレファレンスだけ利用したい、閲覧だけ利用したいというのは数えにくい。通常は1年間に1回でも貸出を利用した人を登録者として計算します。

委員

資料「柏原市の図書館」17ページ、資料3の地域ボランティアとの協働事業、それを見ましてもボランティアさんが頑張っておられるのに2月、3月が参加者数がゼロです。

24年度の事業の対策はされてますか？

また、ゼロの可能性がります。知らない人が多いのでPRとかは？

春休みでせつかくの休みなので、去年も出てないし、今現在で予定を聞いている人が少ないです。

会 長

「柏原市の図書館」の3月4日、26日の参加者がゼロということですね。

付属資料3については、24年度なのでまだやっていません。

3月4日、26日については、なぜゼロなのか。

本当に誰も来なかったのか、単なる書き漏れなのか。

事務局

来てないということはないと思います。調べたいと思います。。

委 員

実際、来られてなかったそうです。ボランティアさんがせつかく用意しているのに。

なのでそれに対してもっとPRなどが大切なのではないでしょうか。3月は子どもたちが春休みですし、せつかくされるのだから。人数も全体的に見て少ないのです。

図書館は子どもたちの声をもっとしてもいいと思います。もともと、柏原図書館は子どもたちの場所が狭いです。親御さんも子どもさんを連れてきにくい。国分は遠い。柏原の方が人口が多い。駅前にあるし、利用しやすいです。でも、子ども連れ、赤ちゃん連れでは使いづらい。寝かせておくことはできないし、小さい子どもたちとしても、本をいっぱい広げて寝転んで読んだりするスペースがない。一般の大人が大事なのもわかりますが、絵本に親しむのは子供時代から作らないといけない。大人は自分の勝手で見たい時に見て、買うのがもったいないから図書館に来ようかということが出来る。子どもは、そこに行けば勝手に見れる、気楽に見れるという場所が必要。その辺りもう少し柏原図書館で場所的なものを考えて欲しい。子どもの場所に入る入口のところに、新刊案内のコーナーがありますよね。子どもの場所に入るのに入りにくいです。私は絵本読みをしているので子どもの絵本コーナーを見せてもらいますが、靴脱ぐ所に新刊本がずらっと並んでいる。場所的にせまいのはわかりますが、それなら、そこに新刊本が入りましたというリストを貼って、要望があればどこにあるかなど知らせる方法を取るなど工夫が欲しいです。

事務局

事務局／本は期間限定でありまして、24年度中に納入された本という形でやっております。また、させてもらいます。

委 員

そうですね。雑誌のコーナーは結構大きいですよ。その一角を使うとか、子どもたちが入りやすいようにしていただきたいです。

事務局

わかりました。

会 長

確認ですが、資料17ページの3月4日、26日は単なる書き漏れということでしょうか。

事務局

これは、調べさせていただきます。ゼロということないと思いますが。

会 長

調べていただいて、訂正して頂く必要があります。

他に、何かありますか？

委 員

私も、絵本読みのボランティアしてます。何冊か借りて、学校で読んであげたりしています。その中で感動したいい本というのがあります。それを図書館に返却の時、「この本とてもよかった。みなさんに読んでもらいたいわ」と司書さんにいうのですが、司書さんとしては業務を果たさないといけないので、「はい、ありがとうございます」と言っていたのですが、その時に「そうですね。私も感動した本ですよ」という答えが司書さんからあったら、共有できますし、また、そのような本を他の人にもお薦めできるから、お薦め本も司書さんから貼りだしたりしていただいたらと思います。

司書さんは本と私たちを繋ぐ役割を持つてると思うので、そのような今持っておられる自分たちの知恵を出していただき、読む側にも教えていただきたいし、本も紹介して頂きたいと思います。一般の方でも、「こういう本、とても感動したから読んでもらったらいよいよ」という声があったら、「誰それが推薦のお薦め本です」と出してもらったら、自分が読んだ本を図書館に言ったら、こんな風に薦めてくれてると、もっと本を読みたいなど、本に対する意識をみなさんに持ってもらえるようなコミュニケーションを司書さんにしていきたいです。

委 員

目立つ場所に「感動した本」と宣伝してもらったり、広報にも宣伝してもらったらいい。

事務局

「100人が読んで100人が感動した絵本展」など、細々ながらしていますが、PR不足で、施設も展示もやっており、作家展とってその人の本を中心に集めたり、何かの形ではさせてもらってますが、今言われた交流をもっと図って、お知恵をいただいて、こちらもお知恵を出して、展示コーナーや冊子を作ったりしてやっていきたいと思っています。

委 員

国分図書館は結構されてます。ぶつくパフェの人とかがされてます。柏原図書館もぶつくパフェの自分たちの感動した本などをコメントを書いて、子どもの所に貼ってました。今もやってますが、目立たないんですね。結局は、狭いんです。

国分図書館の司書さんは、そのまますぐ反映していただいて、スペースがあるので出せる

んです。本は少ないですが、柏原は本はありますが、やってくれても狭いので目立たない。また、司書さんとの交流が少ない。国分図書館は、色々なことを聞いてもいっぱい調べてくださる率が高い。ただ、柏原は整理をよくされています。読んで、ちょっと置いててもすぐに戻されています。それくらい整理はすごくされています。

せっかく、展示されていても目につかないのでお願いします。

副会長

学校にもいろいろご提供いただいています。

まず学校の図書室も蔵書が少ない。子どもたちも限られた本しかありません。

その中で、今年は利用ありませんが、昨年、団体利用と申しますか、学校に500冊くらいお借りし、ご協力いただきました。今年は、学校図書館部会と申しまして、図書館教育の研究会の中で、絵本を子供たちという時に、100冊位用意してもらえないかと言われたのですが、学校中では難しく、それを図書館にお願いして用意して頂いて、実はそれでも足りなかったんです。図書館の限られた予算で用意して頂いたのですが、それは助かりました。限られた予算、施設、設備でやっておられます。

例えば人口減が、実利用者数の関係の話の中でありました、中高生が少なくなってるからコーナーをとというのがありましたが、現実にならぬのか、学校サイドから言って、小学生はどうなんだろう。学校では活字離れに対していろいろやってるが、実際放課後、土曜・日曜に図書館に来ているのかという数字をまとめられるようであれば、お示しいただければ連立しながら進められると思います。次回、そのような資料もできたらお願いします。

会 長

ありがとうございます。

他にはありますか。今までのサービスについて。

委 員

要望が出てたと思いますが、例えば返却ポストを駅におくとか、週に2回位8時までしてもらいたい等、前の会議の時にあったと思いますが、それについて検討されて、進んでいるというものはありますか？

事務局

時間延長ですね。

委 員

国分だったと思いますが、週に1回8時までやってたら助かるという意見が利用者からあったと思いますが、どうですか？

会 長

実際やっている公立の図書館はありますか？

事務局

志紀の図書館ではあります。子どもだけではだめで、保護者と一緒という条件でやっています。

委 員

柏原でも。

事務局

以前、その話がありまして、祝日開館か時間延長するかということでしたが、その結果、祝日開館を選びました。夜は人通りが少なく、アンケートをとりまして、祝日開館の方が圧倒的に多かったのでそうさせてもらいました。

また、今後時間延長は、公園の周辺で、警察にもお願いしてありますが、治安にの問題もありますので、公民館とも提携しながら考えていきたいと思います。

会 長

7時以降の図書館の開館はペイしないというのが、通常パターンになります。開けるためには、光熱費もかかるし、人手もいりますし、お金がかかるんです。開けてどのくらい人が来るかという、ほとんど来ません。昼間の10分の1とか20分の1というのが普通で、そうすると開けてる意味があるのか。もちろん開いてる方が便利なのは確かなんです。かかる事に対してどれだけ便利なのかという、それなら他のことにお金を使った方が、効率がいいより効果的というのが夜間開館についての基本的な図書館の典型的な認識です。便利だとは思いますが。

委 員

そこは、市議員さんをお願いして。

委 員

費用対効果というものがあまして、そこを考えるとどこに予算をかけるのが効果的なのかを考えた上でされていると思います。8時まで延長するということは、私たちも質問させて頂いてますが、費用対効果を考えて、お金があつたらいろんなことができますが、その中で何を一番今しなくてはいけないかを行政的にやっているの、言われたことを全部何でもやりましょうとはなかなかいきません。遅くまでというような意見がたくさんあれば言っていかななくてはいけないとは思いますが。

委 員

前もその話し出しましたよね。審議をして、休日開館か時間延長か、どちらが費用対効果からずいぶん議論したと思います。それで休日開館というふうに踏み切ったということという事ですね。今、現状で利用をどれだけしていただいているか、取り組んでいただいて我々も決断をしていかななくてはと思います。

会 長

他になれば、第3議題の平成25年度上半期の行事予定について説明をお願いします。

事務局

付属資料3に平成24年度の柏原図書館及び国分図書館の図書展示、各イベントを掲載しておりますので、参照して頂ければと思います。先ほど貸出冊数を増やすということで、

図書館としても考えて、月ごとに展示をするものと考えてやっております、追悼特集等を展示して、貸出をしております。特に好評だった事業については25年度の事業計画で詳しくお話させて頂きたいと思います。

写真が載っている物がありますが、これは特に図書館でしたイベントの中でまたやってほしいという声がありますので、これも25年度に入れさせて頂いています。

それでは25年度生涯学習事業部の上半期の予定を説明させて頂きたいと思います。

柏原図書館では図書館ボランティアてんとう虫の会との共催の「かみしばいとお話の会」。これは毎月第3土曜日たまに変わりますが、それと国分図書館ではボランティアぶっくパフェとの共催による「おはなしパクパク」「プチライブ」も25年度同様に開催いたします。子ども読書週間として「こどもクイズラリー大会」「写真絵本展」それと「図書館こども探検隊」ということで、普段は入れない書庫や自動車文庫を探索するイベントを入れていきます。バックヤードツアーです。

夏休みイベントとして「こども1日図書館員」「セミとり大会」「夏休みにおすすめの本」展をします。これとは別に「夏休みの手作り工作」。これは特に人気で、人数制限を25名程度しますが、開館と同時にすぐ子どもたちが並びまして、25名はすぐにいっぱいになり、5名位はふやしてやっています。

あと「今月の作家展」を毎月しております。児童文学作者を特集し、展示しております。

「文学賞の展示」としては、各文学賞にノミネートされた作品や受賞した本、過去に出版された本等、貸出増加につなげたいと思っています。

国分図書館も同様に各ボランティアさんによるイベントを開催します。

特に「新聞紙であそぼう」は、環境月間、6月に開催しています。

身近なもので遊ぶ楽しさを知り、エコについて考えてもらうということで、新聞紙で作った各ブースのゲームで遊んでもらい、その後全体のゲームをしていただいています。新聞紙なので家でも手軽に遊べますので、子どもたちも楽しみながらエコについて学べますので、今後も継続していきたいと考えております。

25年度上半期の事業計画は終わります。

会 長

上半期の事業計画について何かありますでしょうか。

全体的に子供向けの企画になってますが、大人向けはありますか？

事務局

季節ごとの話題やテーマを決めた展示、貸出を行い、震災、防災関係の図書はコーナーを設置し展示しております。秋の読書週間には毎年テーマを変え展示、貸出を行っています。去年は書庫に入っている実用書、料理の本などを展示しまして、こんな本があったのかということで利用がありました。料理本は新しい、古いは関係ないのですが、新しいものが入ってきますと古いものを書庫になおし、利用者の目に留まるのが少なくなります。展示貸出を行いましたところ、結構な利用がありまして、今後もこのようなイベントは行

っていきたいと考えています。

会 長

他にはなにかありますか？

委 員

一般と児童中心ですが、真ん中の学生をどんなふうに誘致しようという考えを持っておられますか？

事務局

小学校高学年、中学生、高校生を対象としたヤングアダルトコーナーを設けました。コーナーを設けたことにより、小学6年から中学生の利用者が増えてきています。もっと充実させたいと思っています。

国分図書館に漫画の本をおいています。柏原にはおいていません。

図書館の職員や、外部の方から寄付して頂いたもので、結構貸出数があります。

今後、ワンピースなど人気ありますので、ものによっては中学生、高校生が図書館に足が向きますので、人気のマンガを置いてみたいなと思っていますが、これも予算がありますので、できるかどうかはわかりませんが。

委 員

是非。中高生を伸ばしていただきたい。ここは普通、学習室に使ってるんですね。防音設備は？

事務局

ある程度していますが、外で大声で話されると中に聞こえます。以前は2階に学習室があり2階には実習室、調理室等があり多少苦情もありましたが現在のところは少しは改善されたようにおもいます。

委 員

勉強する場所があれば、その人たちも来ると思います。静かな場所で、高校生は調べ物をしながら、勉強したいと思うと思います。それと、座って読む椅子の所がありますね。今度、窓側に書棚が並べられましたね。今までは庭が見えてました。心理学などの本を探している時、座っている人が見てるような感じがして、落ち着かないです。椅子の配置の都合もあるかもしれませんが、1列に並んでこちらを向いていますでしょ。国分はたまたま全部窓の方を向いているので本を選んでいても何をしてても違和感はないのですが。選ぶ時にも落ち着かないので、そこの貸出利用率に左右すると思います。さっと見て去っていくような感じがします。

狭いからどうしようもないかなとも思いますが。

事務局

大型本もスペース的な問題もあり斜めにしていますが、確かに椅子との距離が近いです。外せるものは外してリラックスできるようにします。

委 員

そうですね。昔からの柏原市や他の市のなどの資料の所も、何年までを置いておいて、あとは言うてくださいという形にして、スペースをあけて大型を置くなどしたらいいと思います。空間があるからそこに書籍を置くのではなく、図書館で読んだり、見たりするためには空間は大切だと思います。苦勞されているのはよくわかりますが、そこは工夫の仕方でお忙しいとは思いますが、狭いなりの工夫をして、利用価値のあるところは利用しやすいように場所を広げるなど、データをもとに工夫して頂きたいと思います。

事務局

わかりました。検討していきます。

委員

小さい子どもたちに対して、読み聞かせの皆さんがしていただけていますが、高齢者の方が昔は本が好きだったが、今は目が衰えて読めない方がいるので、高齢者向けの読み聞かせをしていけばいいのではないかと思います。

いろいろな声を聞いて活性化して、焦点を高齢者にも向けていただけて読み聞かせもやってみてはいいのかなと思います。高齢者が今後増えていきますので、どこかで楽しみの機会を与える場所を考えていただけたらと思います。

事務局

高齢者向きに、地域活性化交付金で大活字図書や録音図書を購入いたしました。利用が多く喜んでいます。なお一層、高齢者化社会に入りますので検討していきます。

会長

最後に全般にわたって、質問、ご意見、ご提案などありませんでしょうか？

本日の会議に付されました案件の全てが終了したいと思います。これをもちまして平成24年度の柏原市図書館協議会を終了いたします。委員各位におかれましては公私何かとご多忙にも関わりませぬご出席賜り厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。まだまだ寒い日が続くと思いますので、健康にご留意いただきたいと思います。進行を事務局にお返ししたいと思います。

事務局

高鍬会長におかれましては、長時間にわたりまして議事進行をしていただきましてありがとうございました。また、各委員におかれましては、貴重なご意見を頂きありがとうございました。今後とも職員一同、市民が利用しやすい図書館を構築していく所存でございますので引き続きご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

なお、最後になりますが、本日の会議録につきましては、後日各委員に持ち回りさせていただきます。また、図書館ホームページに掲載させていただきますことをご了承賜りますようお願い申し上げます。閉会とさせていただきます。

本日はありがとうございました。